

## 第 54 回紫友会まち歩き

### 早稲田劇場とその界隈を

#### 楽しむまち歩き

案内人の友人が坪内逍遙記念の演劇博物館で案内人をしているとのことで、今回のまち歩きが企画されました。早稲田大学とその界隈を選んで、案内人の学生時代の思い出と記憶を探して歩くまち歩きです。

日時： 2015 年 12 月 13 日(日)

天気：小雨のち曇り、少し寒いくらい。

集合時間：13 時 30 分

集合場所：東西線早稲田駅 2 番改札出口

参加者：25 名

案内人：O 1 7D 小林偉昭&柴田知彦

懇親会：早稲田イタリアン フラットリア

懇親会参加者：28 名

今回の歩数：13,528 歩（参加者の歩数計で家からの往復を含む）でした。

<まち歩き>：

■まち歩き行程

漱石生誕地・夏目坂と KOKURAYA → 大隈記念講堂、大隈庭園 → 演劇博物館見学（案内付） → 水稻荷神社 → 高田馬場跡 → 穴八幡神社 → 戸山公園箱根山登山 → 懇親会場へ移動

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

① 東西線早稲田駅 2 番改札出口集合  
小雨が降っているため、改札口集合は正解であった。

② 漱石生誕地・夏目坂と KOKURAYA  
改札から階段を昇りあがるとすぐ目の前に夏目漱石生誕地記念碑と夏目坂と KOKURAYA（小倉屋）が見える。夏目坂を上りかけたすぐ左手に「夏目漱石誕生之地」と刻まれた黒みかげ石の記念碑がたっている。昭和 41 年、漱石の生誕百年を記念して建てられたもの。



堀部安兵衛が、酒を升で一呑み、喉を潤し、ブォーと柄に霧吹きかけて景気付けに立ち寄った酒屋さんが小倉屋。なお、このお店にはその時の升は保管されていないことを事前確認済。



### ③ 大隈記念講堂、大隈庭園

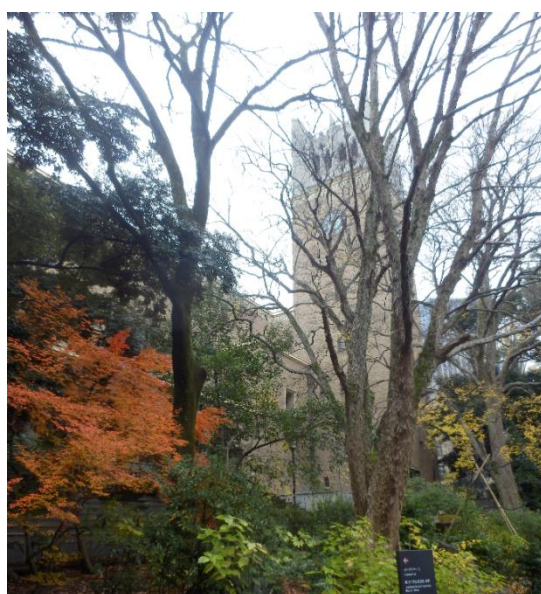
1927年10月20日に竣工した大隈記念講堂は、高田早苗総長からゴシック様式で演劇にも使える講堂をという要望を受け、建築学科中心に設計された。外壁のタイルは全部で約19万枚、信楽風の全て手作りの焼き物である。7階建の時計塔がシンボルとなっており、大隈重信が提唱した『人生125歳説』にちなみ、125尺（約37.8m）の高さになっている。



大隈庭園は、大隈会館の庭園として活用された。中国か韓国の雰囲気がある像がいくつかあった。



紅葉した落ち葉が庭の緑に重なり、日本的風景も十分。



### ④ 演劇博物館見学（案内付）

早稲田政経学部の入りにそばに大隈重信像がある。



英文学者坪内逍遙の古稀と、彼の1909



年（明治42年）から19年間の歳月をかけた『シェイクスピア全集』全40巻の翻訳事業の完成を記念して、1928年（昭和3年）10月に早稲田大学早稲田キャンパス内に設立された。坪内逍遥胸像と握手をすると早稲田入学祈願がかなうとか。



台座には会津八一の和歌がある。  
「むかしひと こゑもほからに た  
くうちて とかしし於もわ みえき  
たるかも」  
建物は、16世紀に存在したイギリスの劇場「フォーチュン座」を模して設計されている。集合写真を撮る。



3組に分かれ、演劇関連の舞台写真、能楽関係資料、シェイクスピアに関する資料をはじめ、衣装、人形など、演劇や映画と関わりのある資料をほぼ1時間ちょっと案内してもらった。指定

以外は原則写真禁止。



逍遥は羊年生まれで、羊の飾り物を蒐集していたようだ。



### ⑤ 水稻荷神社

階段を昇りすぐ左手に堀部安兵衛の碑がある。浅野内匠頭切腹後、終始あだ討ち推進派として活躍。元禄15年吉良邸に討ち入ったその功績が称えられ、明治四十三年(1910)に安兵衛の



石碑が旧高田馬場の一角に建立された。その後、昭和四十六年に現在の水稲荷神社の現在の場所に移された。



水稲荷神社は元禄 15 年 (1702) に『大棕 (むく)』の下に霊水が湧出し、眼病に効能ありと認められ、江戸中で大評判となった。「水稲荷」と名乗るように消防関係者・水商売の人達が特に参詣するよう。



社殿を右手から回り込む。高木神社、



浅間神社、北野神社、



富塚古墳をお参りして次の高田馬場へ向かう。ここも早稲田大学入学祈願で有名とのこと。

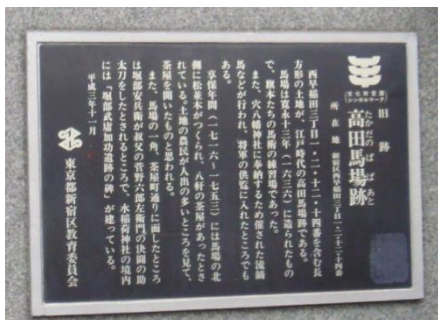
社殿の真裏の小高い丘は、戸塚の町名の起源ともいわれている「富塚古墳」で、早稲田大学 9 号館裏にあったものがここに移された。





## ⑥ 高田馬場跡

江戸時代初期に越後小将松平中輝の母である高田君の庭園として開かれたところで、その関係から高田と呼ぶようになったそう。江戸時代寛永13年(1636)には馬術や弓の練習場としての馬場がつけられた。

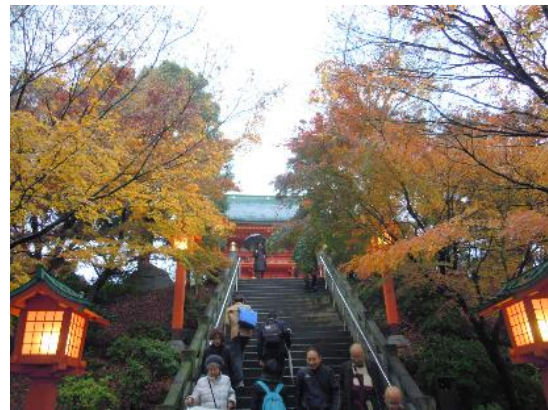


## ⑦ 穴八幡神社

1641年(寛永18年)宮守の庵を造るため、社僧良晶が南側の山裾を切り開いていると横穴が見つかり、中から金銅の御神像が現れた。



以来、「穴八幡宮」と称するようになった。江戸の庶民からも信仰を集め、特に蟲封じの祈祷は有名。



## ⑧ 戸山公園箱根山登山

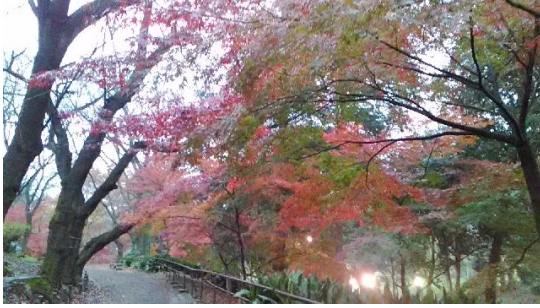
早稲田文学部、改築中の記念会堂前を通り、戸山公園内の箱根山に向かって歩く。雨もやんできている。



箱根山は新宿区で一番高い山で、高さはわずか44.6メートル。







頂上から新宿の高層ビルを一望できる。もとは尾張徳川家の下屋敷で、通称「戸山山荘」といわれていた。小石川の水戸家の後樂園とならぶ名園。明治維新を迎えて陸軍戸山学校となり、第二次世界大戦終結まで存続した。桜で有名だが、今回は紅葉が素晴らしかった。



#### ⑨ 懇親会場へ移動

下見の道とは違ってしまったが、明治通りに出ることができ、早稲田大学理工学部、戸山高校、女子学習院を見ながら、懇親会会場へ歩く。



#### ⑩ 懇親会

今回は忘年会を兼ねているので、さらに5名が参加。





今年は7回（第50回中止の残念会を含め）と番外編1回（奈良）、番外イベント：六義園の枝垂れ桜で、広く数えれば9回まち歩きをしているという盛況の報告や、2016年のまち歩き企画の紹介もありました。  
カラオケを楽しむ。壁ドンの写真。



来年も頑張ってまち歩きをしていきましょう。

以上



